

BCAOアワード2025審査結果

BCAO は、事業継続（BC）に関する表彰を毎年実施しています。今回は20回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2025」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは 2006 年度に創設され、今回が 20 回目の表彰となります。

5月19日(火)、東京渋谷の東京ウィメンズプラザにて表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、当日及び別の機会において受賞者の皆様に内容についてご発表いただく予定です。

各賞受賞者一覧

【事業継続部門】

賞	受賞者	タイトル
優秀実践賞 人づくり・訓練賞	ナブテスコ株式会社 鉄道カンパニー 様	ナブテスコの鉄道事業 100 年 → 次の 100 年へつなぐBCP — 「止めてはならない」を仕組み化する現場現実の事業継続 —
優秀実践賞	因島鉄工株式会社 様	地域を守れない会社は、生き残れない — 中小企業が実践してきた BCP と社会貢献の現場論 —
優秀実践賞	共和ダイカスト株式会社 様	「全員集合」型BCP訓練と組織全体の底上げで強靱企業をめざす
優秀実践賞	旭光電機株式会社 様	独創技術で社会インフラを支え、共助で地域・業界を導く「旭光レジリエンス」 — 電子機器製造における BCP 実践と 30 年の防災・減災活動 —
優秀実践賞	ワイ・エス・テクノ株式会社 様	人と現場力で “生産を止めないBCP” — アナログ技術と多能工化によるレジリエンス経営 —
特別賞	三刀屋自動車工業株式会社 様	BCP 未策定でも機能したレジリエンス文化:危機への対応が経営力強化につながった実践例
普及貢献賞	大同生命保険株式会社 様	南海トラフ地震による中小企業への影響、防災対策に関する調査・研究、および普及・啓蒙に向けた取り組み

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【防災部門、対応事例・人物部門】

賞	受賞者	タイトル
令和6年能登半島地震「災害対応特別賞」 企業防災賞	NEC ネットエスアイ株式会社 様	令和6年能登半島地震における事業継続支援の取り組み デジタルBCPとアナログ交流で「共助」を実現

【BCAO 設立 20 周年記念部門】

賞	受賞者	タイトル
20年記念 BC 推進貢献賞	東京海上日動火災保険株式会社 様	東京海上日動の BC の取り組み ～首都圏大規模災害を想定したバックアップ体制の強化～
20年記念 BC 推進貢献賞	三菱地所株式会社 様	大手町・丸の内・有楽町地区における企業 BCP の取り組みと BCD を目指したエリア防災の取り組み
20年記念 BC 推進貢献賞	株式会社ローソン 様	ローソンの事業継続の取り組み

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

選考に当たり重視させていただいた点

【事業継続部門】

■優秀実践賞、人づくり・訓練賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
ナブテスコ株式会社 鉄道カンパニー 様	交通インフラ整備の一翼を担う同カンパニーは、阪神・淡路大震災の発生時に BCP の概念や手法が認識されていない中で事業の早期再開等を目標に掲げ、従業員や家族の安全、調達先企業での代替生産などに対応し、迅速な意思決定と行動、重要資産の確保と復旧、情報伝達を実践した。その後も、現場の行動に根差すことを重視し、早期復旧体制の構築、従業員の安全確保と訓練の実施、重要設備の耐震化とバックアップ体制の強化などを実践していることが高く評価される。さらに、調達部門 45 名を「BCP バイヤー」に任命するなど人づくりを進め、サプライチェーンの事業継続の向上を実現していることも評価される。また、これら活動は統合報告書を通じてステークホルダーに情報提供されている。

■優秀実践賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
因島鉄工株式会社 様	造船事業、産業機械製造等を行う同社は、西日本豪雨や新型コロナ等の経験を踏まえ、顧客と連携した BCM 体制の構築と地域社会への貢献活動を継続的に推進している。その成果としてレジリエンス認証を取得し、2022 年の「大阪 3S サミット」では最優秀賞に選定された。また、設備の耐震化や 3S 活動による作業環境改善を体系的に進め、現場部門が主体となった実効性の高い BC の事前対策を実施している。BCP 訓練では、レジリエンス定例会を設置し、現場で抽出された課題を経営判断につなげる仕組みを確立した。さらに、課題管理表の自律的運用と経営層によるモニタリングを通じて、全社的かつ継続的な事業継続体制を構築している。これらの取組みは BC の実践として高く評価される。
共和ダイカスト株式会 社 様	自動車部品等をダイカストによる製造を行う同社は、災害等による自社の操業停止が取引先企業の生産停止につながり、社会の回復の遅れにつながるという強い問題意識の下、「事業継続は全従業員で担うもの」との考え方を軸に、2024 年から事業継続に取り組んできた。同年に BCP 訓練を実施し、そこで明らかになった課題を基に社内に BC のための役割別の班体制を構築、2025 年にはレジリエンス認証を取得した。その後、さらに全従業員を対象とした BCP 講義・訓練を実施し、そこから自社の 2 拠点体制を含めた BCP の問題点、課題、改善点を整理し、それぞれの項目についてどこまで対処できたかを「見える化」し、順次対応している。これらの取組は BC の実践として高く評価される。

旭光電機株式会社 様	センシング・制御技術を核とする同社は、その技術で安全と快適な社会に貢献する」という企業理念のもと、長期かつ継続的に BCM 活動を推進してきた。2012 年の防災マニュアルを起点とし、2019 年に BCP を策定、その後も継続的な見直し・改善を重ねることで、激甚災害や感染症などの環境変化に対応可能な、経営と一体化した BC 体制を確立している。耐震化や拠点分散、サプライチェーン強化、人材育成といった施策を長年にわたり着実に実行し、2019 年には兵庫県の中小企業として初めてレジリエンス認証を取得した。さらに、継続的な訓練の実施や地域社会との共助体制の構築、情報セキュリティ分野における BCP にも着手している。これらの多様な取組みは BC の実践として高く評価される。
ワイ・エス・テクノ株式会社 様	板金加工を中心とした製造業で地域産業を支えている同社は、「生産を止めない」ことを最優先に、日々の現場改善と人づくりを積み重ねてきた。BCP の策定・運用では、人と現場を中心に実態に即した内容とすること、設備トラブルにおいて状況に応じた代替工程の検討や人員配置の見直しで早期復旧に努めたこと、技術継承・教育訓練と多能工化などに取り組んでいる。また、レジリエンス認証を取得・更新し取引先の信頼を得るとともに、新規受注などの本業の発展にもつなげた。さらに、非常時には自社の状況を速やかに共有し、納期調整や代替対応について協議できる関係性を平時から築いている。これらは、平常時の経営を有事対応の BCP にも取り入れて成果を上げた好事例と評価される。

■特別賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
三刀屋自動車工業株式会社 様	自動車整備・販売、運輸業を営む同社は、BC の演習とともに従業員全員が決算書を読める体制づくり等に取り組む中で、従業員が会社の BC と経営を主体的に考えられる意識改革を進め、安全性向上、業務効率化、売上増を従業員主体の提案や行動により達成している。例えば、事務所非常口の 신설による災害時の避難ルート確保と平常時の動線改善、夏季の猛暑対策としての時短勤務の導入による業務効率性の改善、整備部門の努力による売上増などを実現した。同社は BCP 未策定と表題で示しているが、BC の重要な内容は実施されており、演習等を通じた BC の取組みを契機とした従業員の意識転換により、リスク対応と経営改善・利益拡大を同時に実践している取組みとして高く評価される。

■普及貢献賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
大同生命保険株式会社 様	生命保険会社である同社は、その社会的責任を果たすため、BCP の策定・運用、訓練、体制整備等についての普及・啓発に継続的に取り組んでいる。これまでに多くの有識者の協力を得て、南海トラフ地震による中小企業への影響を中小企業目線で定量的に可視化するなどの防災対策・BC の調査・研究を実施してきた。また、それで得られた知見を、BCP 未策定の中小企業でも「最初の一步」が踏み出せるよう、中小企業経営者が理解し行動に移すまでの導線を示した。その内容は、①シンポジウムの開催、②パンフレット・アクションプランブックの提供、③メールマガジン等による Web 配信、④営業現場での継続案内、である。これらの普及・啓発活動の取組みは、方法、広さなどが高く評価される。

【防災部門、対応事例・人物部門】

■令和6年能登半島地震「災害対応特別賞」
企業防災賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
NEC ネットエスアイ 株式会社 様	ICT システム・機材の設計・提供を事業とする同社は、令和6年能登半島地震において、取引先の地方自治体（石川県庁、能登町役場、志賀町役場）の災害対応に支援を行った。地震発生の3日後に支援の必要性を把握し、翌日より物品の提供や貸与を開始した。また、各自治体が抱える課題に緊急対応から復興まで寄り添い、支援規模も大きいことは高く評価される。また、石川県の被災した高校の遠隔授業を技術面で支え、学びを止めない貢献を行ったことも評価される。さらに支援活動の反省を踏まえて開発や改善にも取り組んでおり、「時間、場所、人に依存しないデジタル災害対策室」の実現や社内の人づくりなど、今後の支援に役立てる成果をあげている点も高く評価される。

【BCAO 設立 20 周年記念部門】

■20 年記念 BC 推進貢献賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
東京海上日動火災保険 株式会社 様	損害保険会社の同社は、その業務の継続を社会的使命と位置づけ、1991年に部門横断の常設組織「災害対策推進チーム」を設置して以来、BC体制の構築・高度化を継続してきた。首都圏と関西の二極のバックアップ体制を早期に整備し、関西バックアップ本部が最長2週間、業務を代替する体制を確立している。平時には、関西に災害対策推進の専任部署を常設し、課題管理とバックアッププランの見直しを実施し、体制の実効性を20年以上にわたり維持・強化してきた。さらに、全国のサービス部経験者を事前に「サービス部経験応援者」として任命し、発災時の人的バックアップを含む多層的なレジリエンスを確保している。このような長期にわたるBC推進の取組みは高く評価される。
三菱地所株式会社 様	不動産事業を営む同社は、関東大震災の3年後の1926年から総合防災訓練を実施してきた。また、2004年には大丸有地区の防災まちづくりを支える「東京駅周辺防災隣組」が設立され、社員が地域協力班として活動してきた。2006年は「三菱地所グループ事業継続計画ガイドライン」を策定し、事業継続力の確立に取り組んでおり、さらにエリアとしての業務継続を目指したBCD（Business Continuity district）という概念のもと、我が国の経済の中心エリアで20年以上、BCと防災に貢献されていることは高く評価される。最近では、2025年の訓練では警視庁・東京消防庁と連携のうえオフィス街を交通規制し、就業者や来街者も巻き込んだ参加型の訓練を行ったことも高く評価される。

株式会社ローソン 様	<p>コンビニエンスストアを展開する同社は、1995年阪神・淡路大震災時には、被災地での店舗の早期の営業再開に全力を尽くした。2003年にいち早く自社のBCP作成に取り組み、その後、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等の災害時に、自社店舗の早期営業再開のみならず、避難所への支援物資提供に積極的に取り組むとともに、これら累次の災害の経験をBCの改善に反映させてきている。BCMの基本方針としてローソnbr/>ブランドの維持（「マチのライフライン」として使命を果たすことによる）、フランチャイズのビジネスの継続、適正な利益の確保の3点を掲げ、長期にわたり取り組んでいること、また、自社の取組や経験を積極的に公表してきたことは高く評価される。</p>
------------	--

BCAO アワード選考委員会では、2025 年 10 月 31 日（金）～2026 年 2 月 16 日（月）の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

◆受賞

- ・ 事業継続部門：優秀実践賞、人づくり・訓練賞（1 件）、優秀実践賞（4 件）、特別賞（1 件）
普及貢献賞（1 件）
- ・ 防災部門、対応事例・人物部門：（1 件）
- ・ BCAO 設立 20 周年記念部門：（3 件）

◆選考方法、基準等

- 事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について
 - ・ 優秀な BCP の策定・BCM の実施で範となるものを「優秀実践賞」
 - ・ BC のための人づくり、訓練の手法の紹介や実践事例で優れたものを「人づくり・訓練賞」
 - ・ 優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
 - ・ 社会における BC の普及への貢献が顕著なものを「普及貢献賞」
- 防災部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について
 - ・ 企業や企業を中心とする地域の防災への取組で有益なものを「企業防災賞」
- 対応事例・人物部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について
 - ・ 能登半島地震への優れた対応事例を「災害対応特別賞」
- BCAO 設立 20 周年記念部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について
 - ・ 過去概ね 20 年あるいはそれ以前から今日に至るまで継続して BC または BC につながる防災活動に取組み、BC の推進に貢献した企業・団体を「20 年記念 BC 推進貢献賞」

【BCAO アワード 2025 表彰式・受賞者の取組み発表プログラム】

- ◆日時：2025 年 5 月 19 日（火）13 時 30 分～17 時 40 分（予定）
- ◆場所：東京ウィメンズプラザ 地下 1 階ホール（〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67）
- ◆内容：
 - 13:30～13:35 「挨拶」
丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
 - 13:35～13:55 「選考説明・受賞者発表」
 - 13:55～14:15 「賞状授与」
 - 14:15～14:30 「記念撮影」
 - 14:30～17:40 「BCAO アワード 2025 受賞者様の取組み発表」

【BCAO アワード 2025 表彰式・受賞者の取組み発表終了後、受賞者を囲んでの親睦会を予定しています。】

- ◆ 日時：2025 年 5 月 19 日（火） 18 時 00 分～19 時 30 分(予定)
- ◆ 場所：青山 カフェ カルチェラタン （東京都渋谷区神宮前 5-51-8 ラポルト青山 B1）
03-6712-7929
<https://www.quartierlatin.co.jp/>

問合せ先： NPO 法人事業継続推進機構 事務局 TEL 03-6321-1240 FAX 03-6661-9191 bc@bcao.jp
--